

令和6年 11 月6日(水)

グループワーク記入用紙

2 グループ

①各自の気になった項目・キーワード

(1) 生きがいづくりと健康づくり・介護予防の推進

②気になった理由・意見交換内容等

◇気になった理由

- ・活動できる場所の確保が難しいことがあり困っている。場所があっても有料であると利用しづらいことがあり、行政の補助などが受けられると利用しやすいと思った。
- ・豊富な経験や知識を持っている方が多いため、それを活用、発揮できる場があると生きがいづくり、健康づくり、介護予防の推進に繋がるのではないかと思った。
- ・意欲の低下から閉じこもりがちになり社会から孤立してしまう多いため、お茶会など気軽に参加できる場が増えると閉じこもり予防になるのではないか。

◇課題を解決するためには高齢者の居場所が必要になるが、居場所には 2 種類(物理的、心理的)あるのではないかと意見が出た。

- ・物理的な居場所⇒マンションの集会所、福祉施設、スーパーのイートインスペース、小、中学校等
福祉施設によっては地域の方がトイレを借りに寄ったり、道端で迷っている人や体調の悪そうな高齢者を地域の方や警察の方が連れてきてくれたりするところがある。そのような福祉施設に協力を依頼して、夏場のクールスポットのように利用させてもらえると、より地域の方にとって身近な場所になるのではないか。また、気軽に立ち寄れる場所であるというようなマークがあると分かりやすいと思う。
スーパーのイートインスペースについては、実際に地域の方が集まって交流の場になっているところもあり、買い物ついでに立ち寄れる良い居場所となっているため、多くのスーパーに協力と理解が得られれば良いと思う。

- ・心理的な居場所⇒仕事や趣味など、これまでに培ったスキル(昔取った杵柄)を活用できる場所
以前は小学生と昔遊びを通じて交流を図る機会があったが、コロナ禍で中止となり、現在も再開されていないため残念に感じている方が多い。
小、中学校の学生との交流以外にも PTA や行事の写真撮影、部活動の練習時間の見守り役など保護者や教員の支援にもなるような機会があると専門的なスキルを持っている方が活躍できるのではないか。

